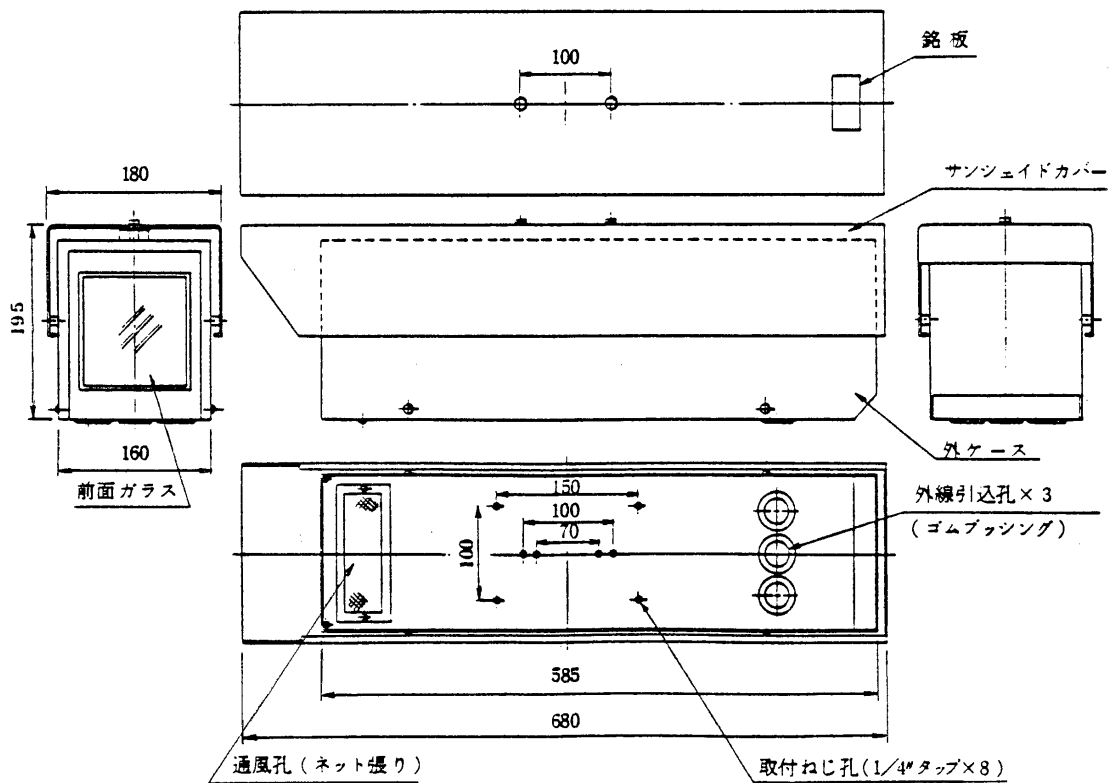


東芝屋外カメラケース取扱説明書

THN-210 (ファン付)

このたびは東芝屋外カメラケースをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのカメラケースを正しく使っていただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは必ず保存してください。

各部のなまえと大きさ (単位: mm)

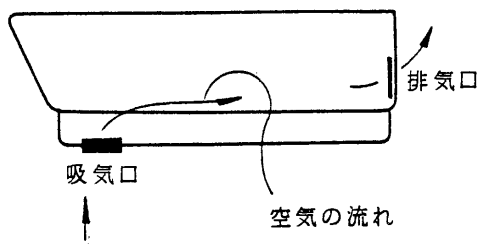


特 長

- 防滴構造をしていますので屋内でも屋外でも使用することができます。
- ファンを装備していますのでカメラケース内の温度が高くなると自動的にファンが働きカメラを空冷します。
- 別売のヒーターユニット（ THS - 1H ），デフロストガラスユニット（ THS - 1D ）を組み込めば、周囲の温度がさがってもカメラを常に最適状態で動作させることができます。
- 旋回装置（ TPN-200 ）にでも半固定雲台（ TWB-200H ）にでも取りつけることができます。

特にご注意を

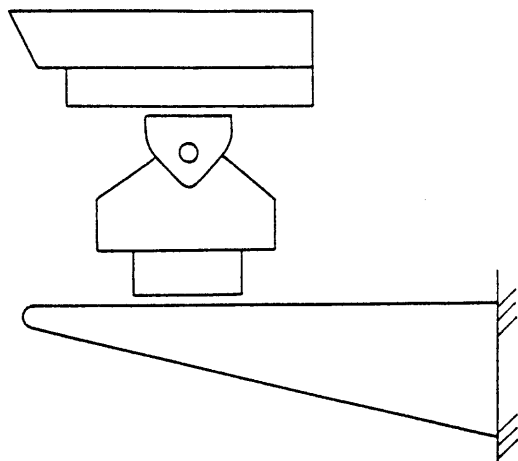
- 本カメラケースを旋回装置に取り付けてご使用される場合は、旋回中にカメラケースが周囲の壁や天井等にぶつからないようにカメラケースの設置場所には充分気をつけてください。
- カメラ電源、ヒーター、ファン、デフロストガラスはAC100V配線ですので電源を入れる前に配線が正しいか必ず確認してください。
- 本機の吸気口と排気口はふさがないようにしてください。



設置のしかた

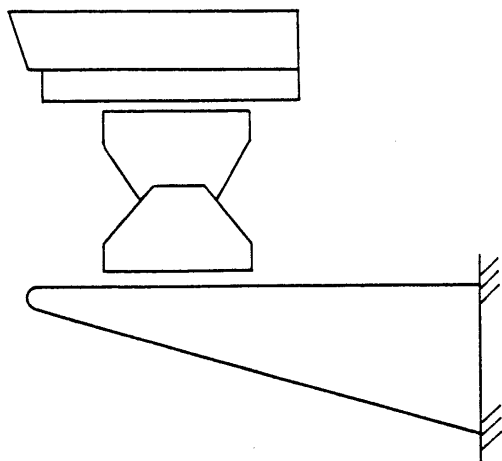
■ 組み合わせ使用例

本機は下図のように各種の取付台、カメラケースと組み合わせて使用することができます。



- 屋外カメラケース THN-210
- 屋外旋回装置 TPN-200
- 取付架台 TWB-400P

- 屋内、屋外どちらでも使用できます。

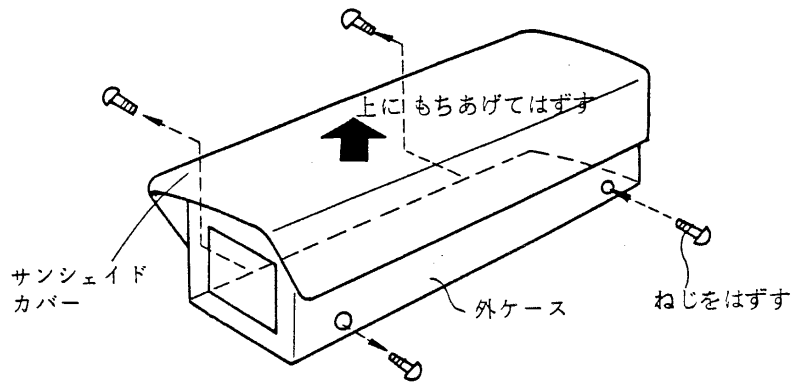


- 屋外カメラケース THN-210
- 半固定雲台 TWB-200H
- 取付架台 TWB-200P
TWB-400P

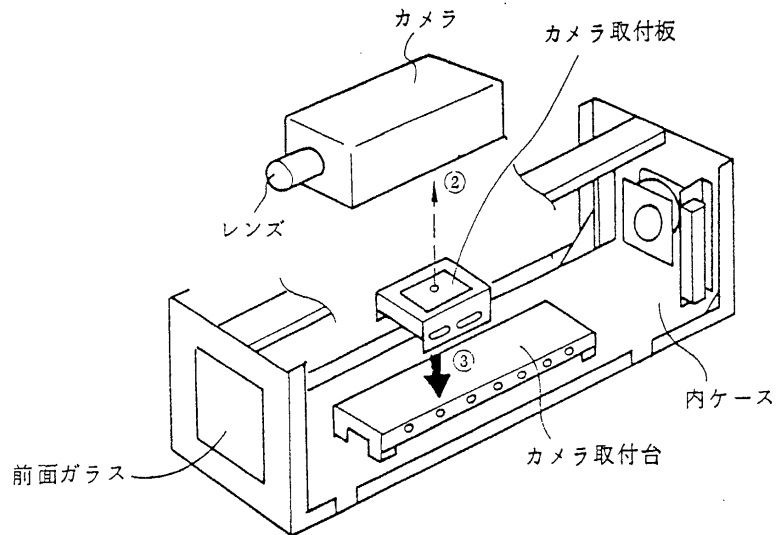
- 屋内、屋外どちらでも使用できます。

■ カメラの取付けかた

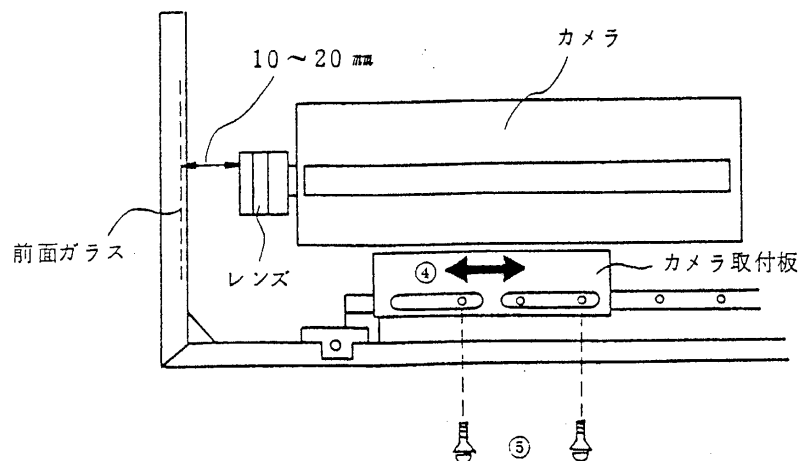
- ① 本体側面の止めねじ4ケをはずし、外ケース、サンシェイドカバー（一体化）を上を持ちあげてはずしてください。



- ② 内ケースのカメラ取付台にねじ止めしてあるカメラ取付板を取りはずし、カメラをカメラ取付板にねじ止めしてください。(U 1/4ネジ)
- ③ つぎに、カメラ取付板をカメラ取付台にのせ、



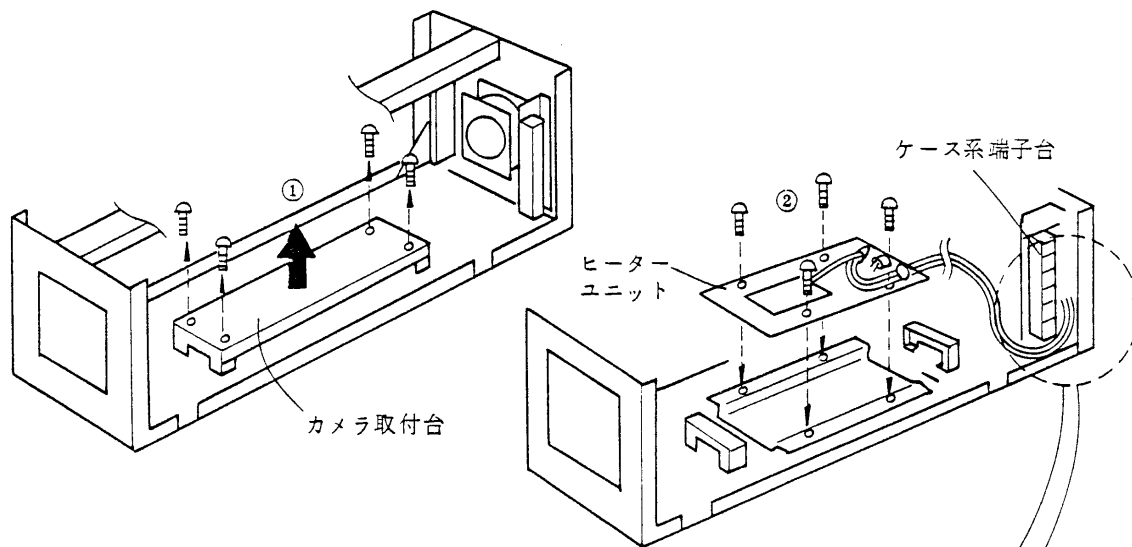
- ④ カメラのレンズ先端と前面ガラスとの間の距離が約 10～20 mm 程度になるようにカメラ取付板をずらして位置を合わせたのち、
- ⑤ カメラ取付板をカメラ取付台にねじ 4 枚でしっかりと固定してください。



■ ヒーターユニット (THS-1H) の取付かた

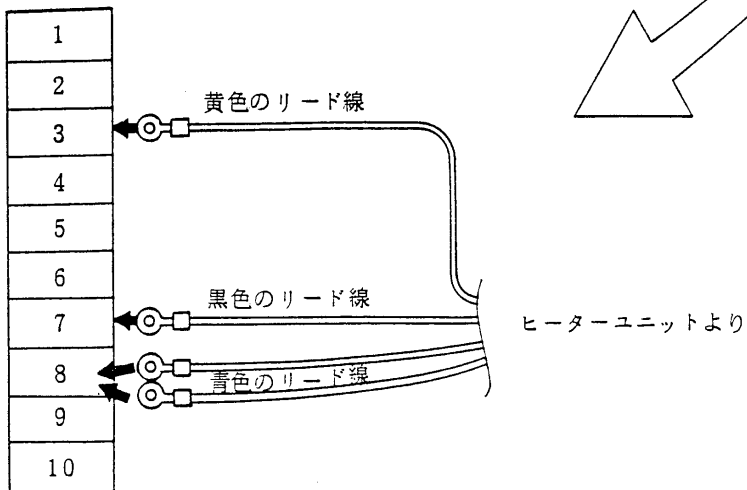
本機は別売のヒーターユニット (THS-1H) を取り付けることができます。
次のような手順で取付けてください。

- ① カメラ取付台を取りはずしてください。
- ② ヒーターユニットをねじ4ケで内ケースに固定してください。



- ③ 端子台へ下図のように接続してください。

ケース系端子台

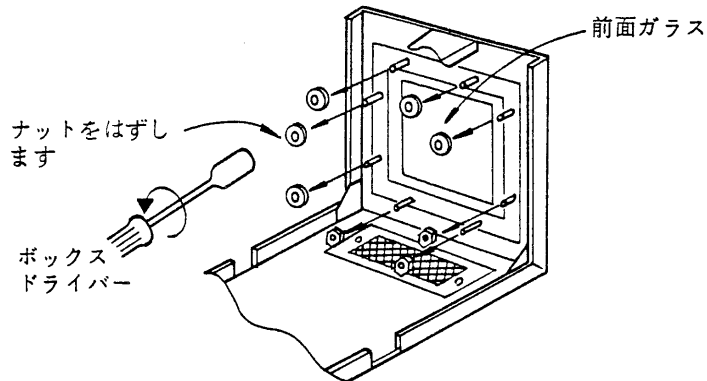


- ④ 接続が完了しましたらカメラ取付台を取りはずす時と逆の手順で取りつけてください。

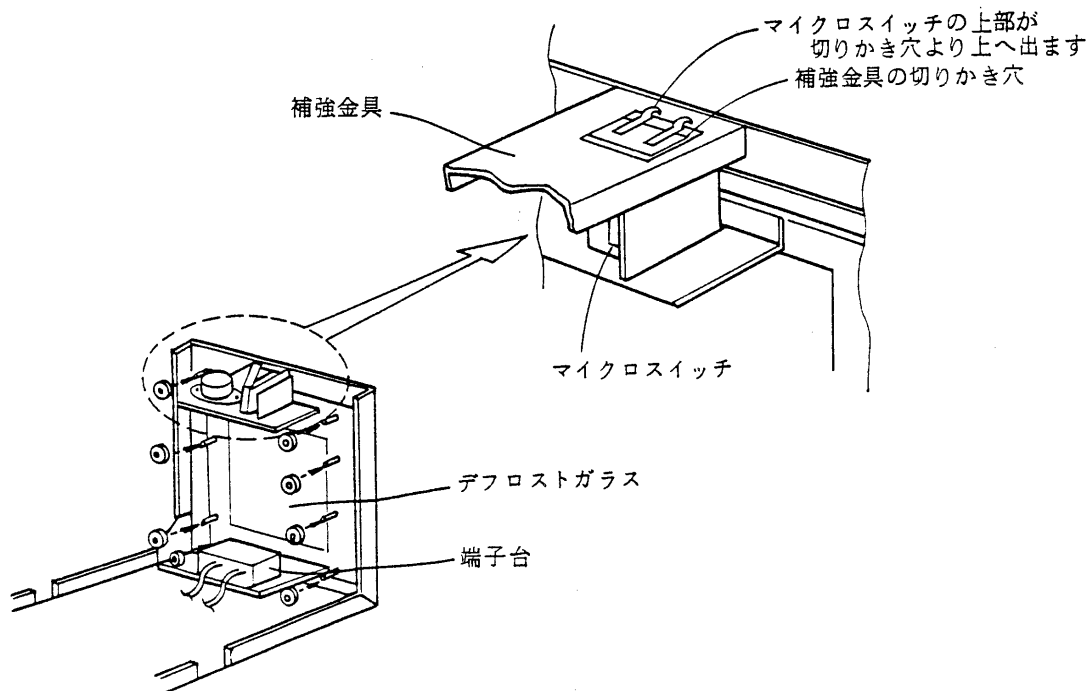
■ デフロストガラスユニット (THS-1D) の取付けかた

本機は別売のデフロストガラスユニット (THS-1D) を取り付けることができます。
次のような手順で取り付けてください。

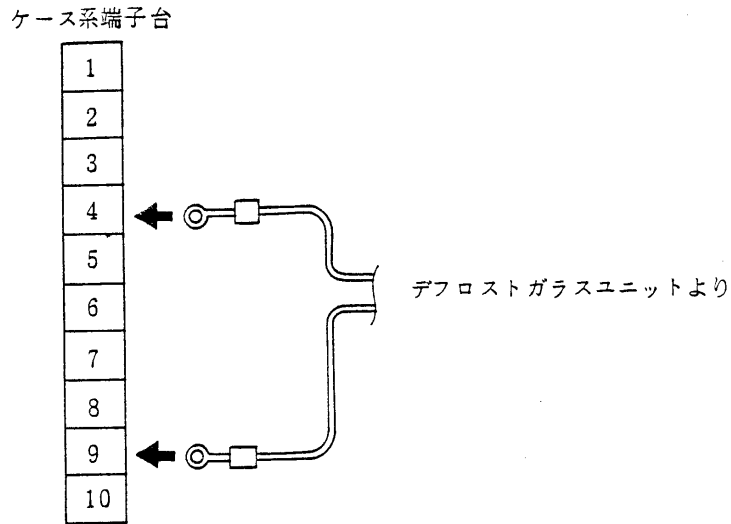
- ① 前面ガラスを止めているナット8個を3mmナット用のボックスドライバーを使ってはずし、前面ガラスをはずしてください。



- ② はずした前面ガラスのかわりにデフロストガラスユニットをナット8個でしっかりととめてください。
この時ナットを締めすぎてデフロストガラスを割らないようにご注意ください。
また、本デフロストガラスユニットは外ケースをかぶせたときに通電するように上部にマイクロスイッチが取り付けられています。
デフロストガラスユニットを取り付けると、マイクロスイッチの上部が補強金具の切りかき穴より上に出ていることを確認してください。



③ 端子台へ下図のように接続してください。(無極性です)



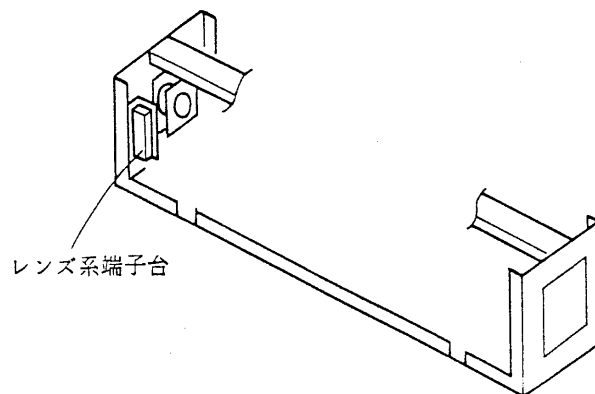
(ご注意)

本ユニットは、ガラス面内側が通電されますので、マイクロスイッチを押した状態でガラス面の内側を手でさわらないようにしてください。

■ 電動ズームレンズへの接続について

本カメラケースは電動ズームレンズ付カメラを収納することができます。

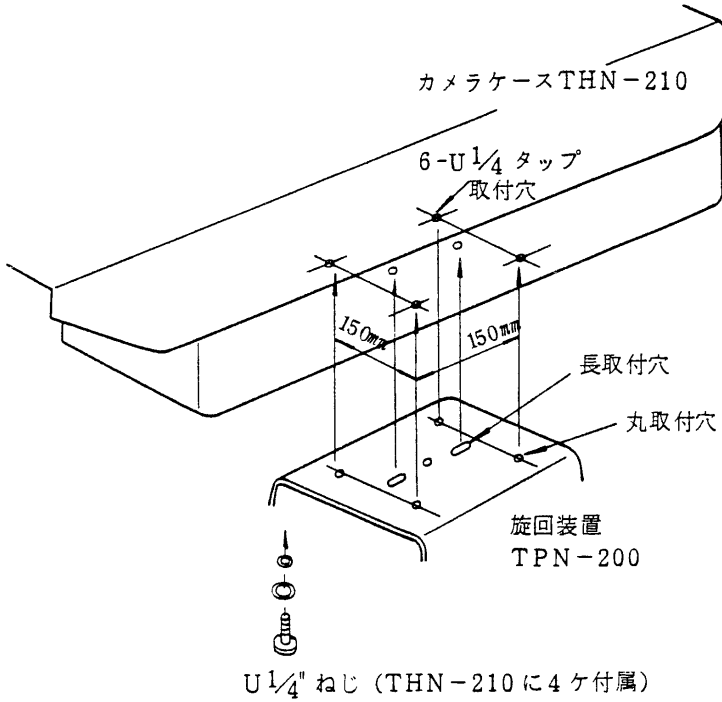
電動ズームレンズへの接続は下図のレンズ系端子台を使って外線と接続してください。



■ カメラケースの設置のしかた

● 旋回装置に取付けるとき

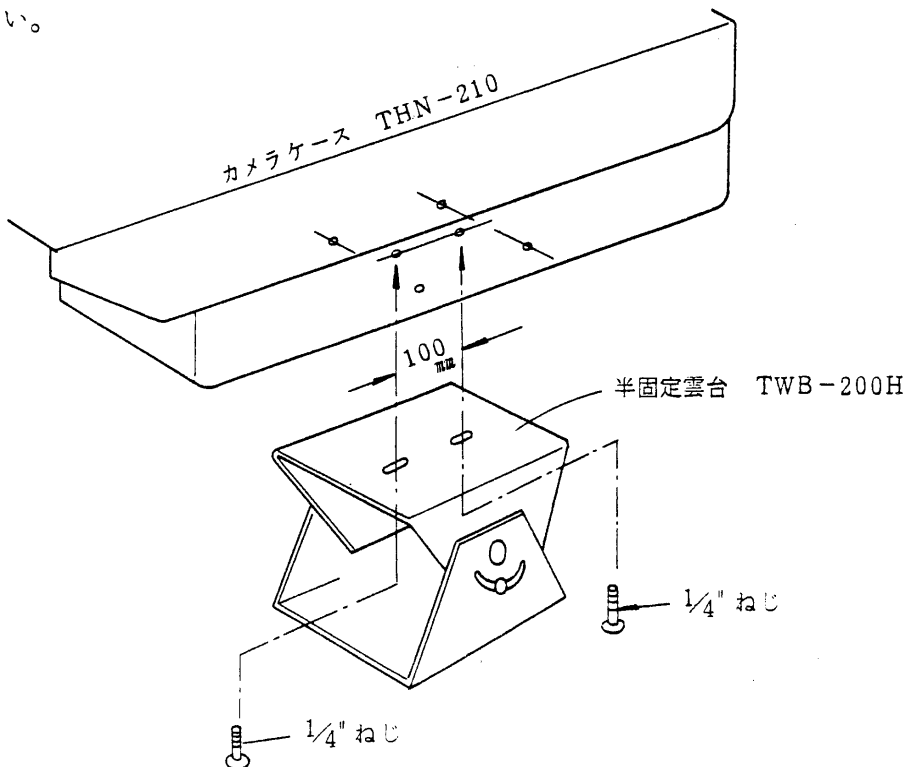
- ・ 本機を取付けて使用できる旋回装置は東芝屋外旋回装置TPN-200です。
- ・ 下図のように取付ねじ（本機に4ヶ付属）でカメラケースにしっかりと取付けてください。



- 旋回装置の長取付穴の中心がカメラケースの取付穴の中心と一致する点では、他の丸取付穴もカメラケースの取付穴と一致するようになっています。
- このような場合は丸取付穴4ヶ所で旋回装置に取付け、固定してください。
- カメラケースの位置が前後にずれた場合は長取付穴2ヶ所でカメラケースを取付け固定してください。

● カメラ取付台（半固定雲台）に取付けるとき

- ・ 下図のように取付ねじ（本機および半固定雲台に付属）2本で半固定雲台にしっかりと取付けてください。



接続のしかた

- 添付の機器間接続図に従い接続してください。なお、旋回装置と組合せて使用する場合は旋回装置への接続には付属のコネクタを使用し、防水効果を保つために指定の径の（機器間接続図に記載）多芯ケーブルをご使用ください。
- リレーボックス～リモコンチェンジャーまたはリモコン操作器間の接続および本機～モニターテレビまたは映像切換器間の接続は、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

配線距離について

- 各機器間の配線、同軸ケーブルの伝送距離については次を参照してください。

- リレーボックス ～ 屋外カメラケース間

公称断面積 (mm ²)	0.75	1.25	2.0	3.5
単芯線 (mm)	1.0	1.2	1.6	2.6
距離 (m)	600	1000	1400	2000

- リモコン操作器（リレー制御用）
リモコンチェンジャー } とリレーボックス間の配線

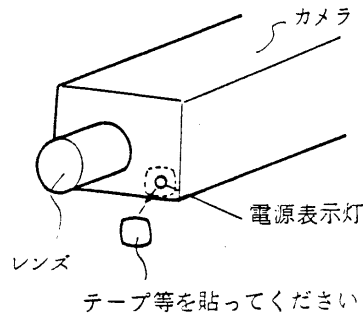
公称断面積 (mm ²)	0.3	0.5	0.75
単芯線 (mm)	0.65	0.8	1.0
距離 (m)	2200	3400	4800

- 同軸ケーブルの伝送距離
(ケーブル補償器を使用しますと伝送距離はのびます)

同軸ケーブル	伝送距離 (m)
5C - 2V	200
7C - 2V	300
5C - 4E	400
7C - 4E	500
10C - 4E	600

お願い

- ・ カメラの取付け位置によってカメラの電源表示灯の光が前面ガラスに反射してレンズに入射し、非常にみにくい場合があります。
- ・ このような時にはカメラの電源表示灯の上に厚手のテープ等を貼ってご使用ください。



使いかた

■ 準備

- ・ 各機器間の接続に間違いがないか、もう一度お確かめください。
- ・ 各機器のすべてのスイッチが「切」の位置になっていることを確かめてください。
- ・ 各機器の電源コードをAC 100 Vコンセントに差し込み、各機器の電源スイッチおよびリモコン操作器のカメラ電源スイッチを「入」にしてください。

■ 操作のしかた

- ・ 電源スイッチを「入」にすることによりファン回路に電源が供給され、作動状態になります。
- ・ カメラケース内の温度が上昇しますと自動的にファンが働き、カメラ、レンズを最適温度に保ちます。
- ・ 寒冷地等外気の温度が低い場所でご使用の場合、または外気の温度、カメラケース内の温度の差が大きく、カメラケース前面のガラスが曇って見にくいような場合は、別売のヒーターユニット、デフロストガラスユニットをご使用ください。自動的にカメラケース内の温度を最適状態に保ち、ガラスの曇りも生じません。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ各機器の電源スイッチを切ってお買いあげの販売店、お近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。
なお、ご相談されるときは、形名 THN-210 およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕様

ファンモータ AC100V, 6W
(サーモスイッチにより25°C以上ON)

外観

材質 : 鋼板
塗装 : メラミン焼付塗装 (シルバーメタリック)
重量 : 約 9.5 kg

付属品

取付用ボルト 4本 (U 1/4"ねじ L = 12)

オプション部品 (別売)

デフロストガラスユニット AC100V, 10W
(サーモスイッチにより+30°C以下ON, +50°C以上OFF)

ヒーターユニット AC100V 50W
(サーモスイッチにより+5°C以下ON)

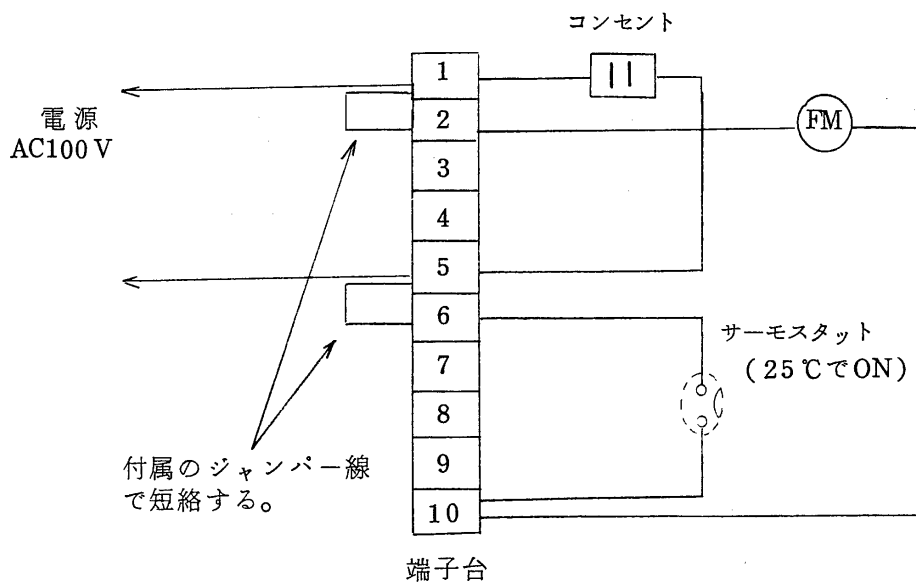
工事店様へ

THN-210

○ 結線のしかた

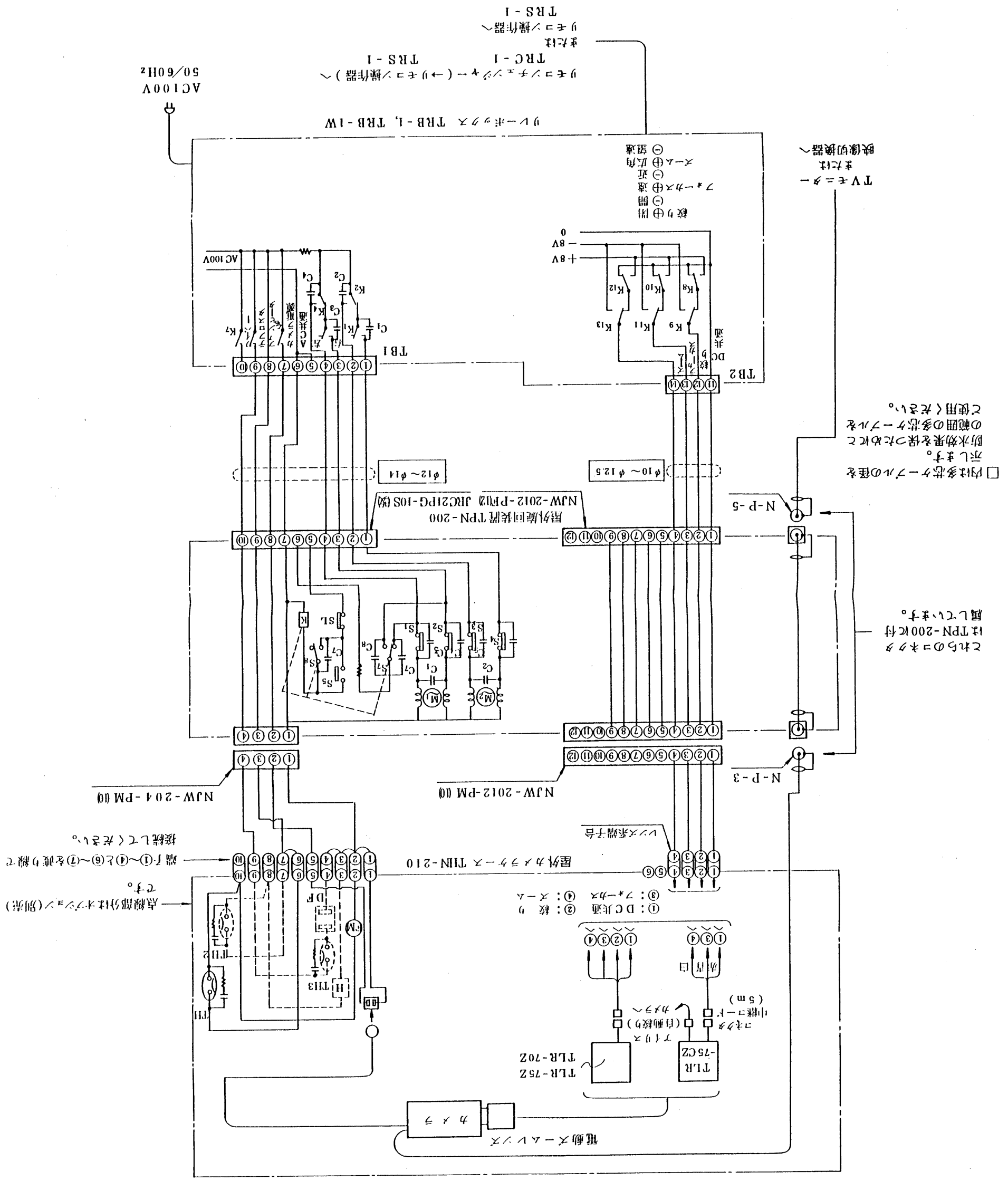
リモコン操作器で制御をしない場合

1. 本体側面の止めねじ4ケをはずして、外ケース、サンシェイドカバー（一体）を持ちあげてはずしてください。
2. 10Pの端子台のNo.1と2を短絡し、それとは別にNo.5と6も短絡して下さい。（短絡用に2本のジャンパー線を付属してあります。）
3. 電源AC100V（50/60Hz）を10Pの端子台のNo.1と5に接続してください。
4. 以上の接続でコンセント及びファンへ電源が供給されます。（ファンは、周囲温度が約25℃以上になるとサーモスタットがONし、動作します。）



リモコン操作器で制御をする場合

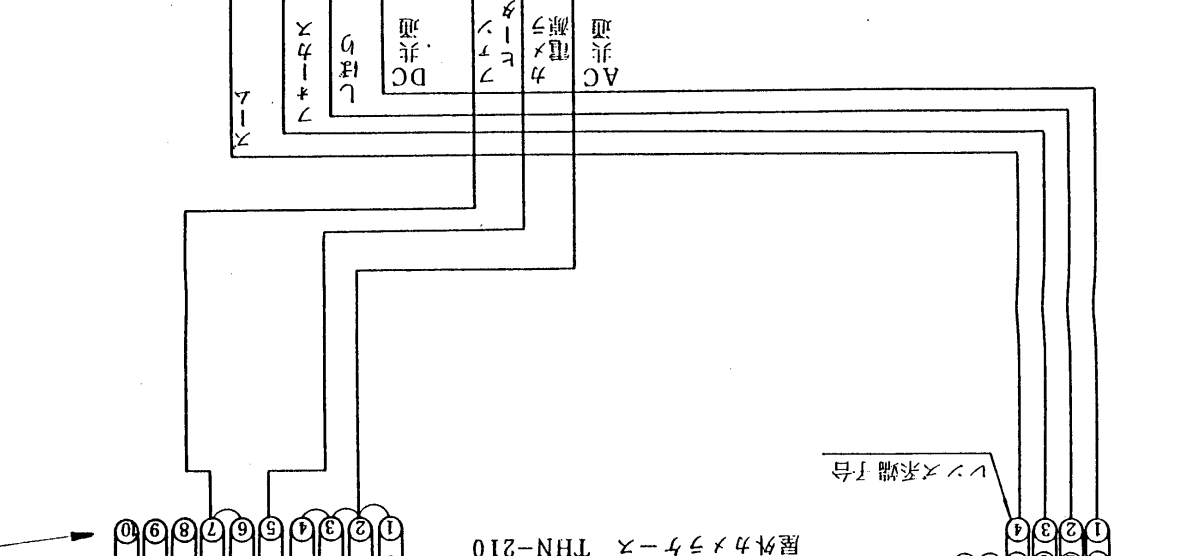
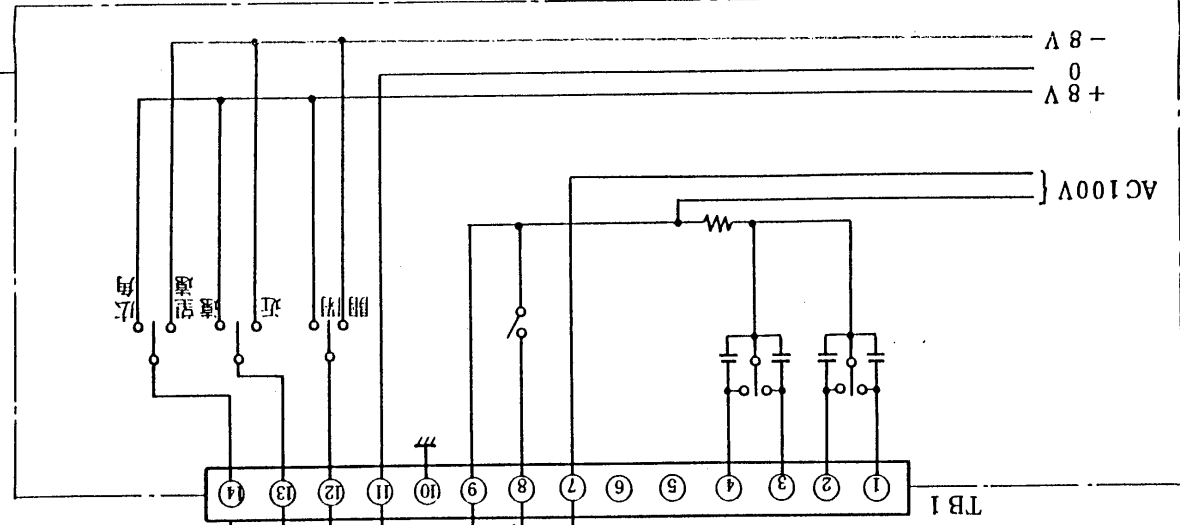
1. 取扱説明書の接続図（13ページ以降）のとおり接続してください。
- ⊕ デフスタガラスユニット、ヒーターユニットの接続のしかたは、取扱説明書（6～8ページ）をご覧ください。



モーターレール

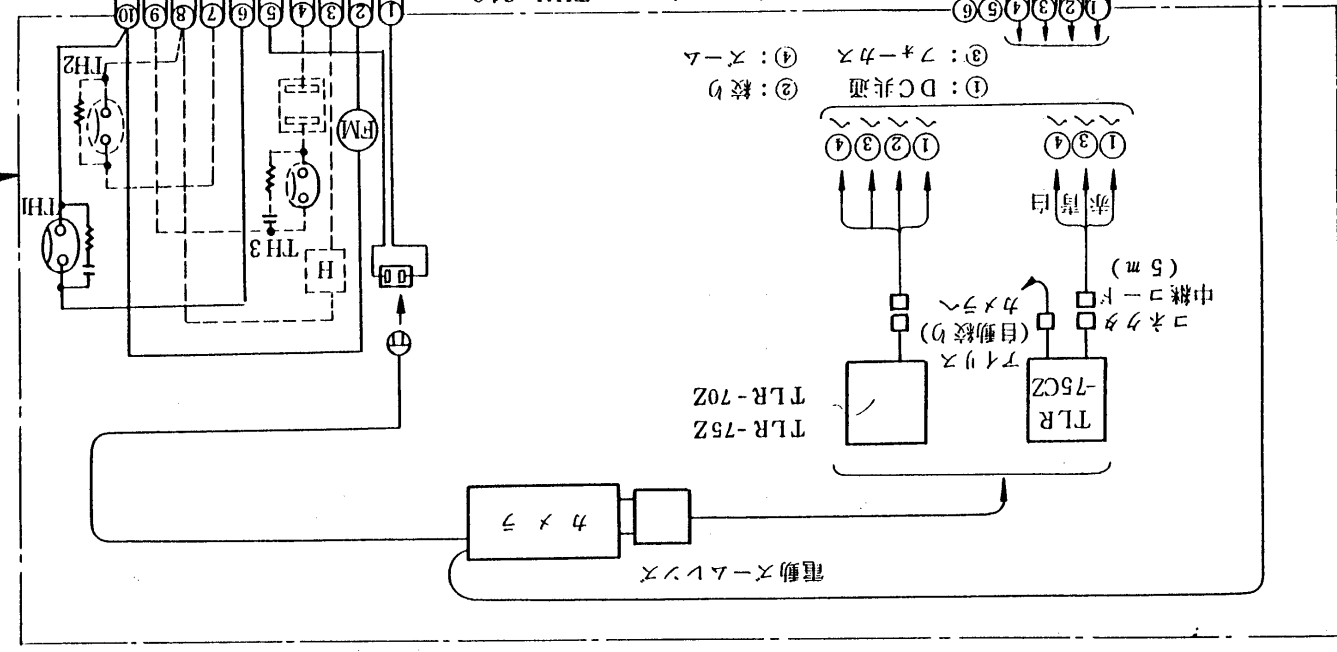
リモコン操作器 (直接制御) TRN-1

AC100V 50/60Hz



端子①～④と⑥～⑦は渡り線接続してください。

点線部分はボリッシュ (別売) です



- ①: DC共通
- ②: 絞り
- ③: フォーカス
- ④: スーパ